

面接相談スキルアップ研修

利用者や職員と【話をするとき】、【聴くとき】、自分ってどんな風に見えるんだろう…
この研修では、自身が相談対応する場面をビデオに録画して、実際に確認します。
客観的な視点で自身の表情や、クセに気づきを得ることができます。

目的 コミュニケーションラボシステムを活用し、援助的コミュニケーションについて実践的に学びます。自分自身のコミュニケーションパターンに気づき、援助者としての自己理解を促進させることにより、相談援助の場面におけるスキルアップをめざします。

対象 社会福祉事業従事者（特に新任・中堅職員の方にオススメです）
※1回目と2回目の研修の間に課題（逐語録の作成等）があります。

定員 各コース 18名 ※申込多数の場合、神戸市在勤の方を優先し、抽選

相談業務の中だけでなく、利用者さんとの会話や職場での職員同士のコミュニケーションにも役立ちます！！

コミュニケーションラボシステムとは？

ビデオカメラ、モニターなどの機器を使用して、受講者2名の模擬面接の様子をビデオで撮影し、分析するための、本研修専用の機材です



コース	日程	時間	講師	申込締切
Aコース	令和6年 10/11(金) 10/25(金)	各回とも 9:30~16:30	関西学院大学人間福祉学部 教授 川島 恵美 氏	9/20 (金)
Bコース	令和6年 11/26(火) 12/10(火)	各回とも 9:30~16:30	株式会社E-GAO 取締役 (元帝塚山心理学部 准教授) 宮川 治樹 氏	11/5 (火)
Cコース	令和7年 1/30(木) 2/13(木)	各回とも 9:30~16:30	大阪公立大学大学院生活科学研究科 特任准教授 中島 尚美 氏	1/9 (木)

※3コースそれぞれ同じ内容です。いずれかのコースでお申込みください。

会場 こうべ市民福祉交流センター 3階302教室

申込方法 市民福祉大学ホームページ
(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp>)より申し込み
※お知らせいただいた個人情報は研修にかかる事務以外には一切使用いたしません。



【市民福祉大学HP】

受講料 各コース 10,000円(事前振込)

※申込締切後、受講決定通知と共に振込用紙をお送りします。

持ち物 データが入っていない8GB以上のUSBメモリ



研修内容

セッションⅠ

研修オリエンテーション・機材オリエンテーション

【録画1】

<小講義>コミュニケーションの基本

セッションⅡ

<小講義>かかわり行動について

【録画1】フィードバックセッション

【録画2】事例のロールプレイング

☆課題→ロールプレイング逐語録作成

セッションⅢ

<小講義>言語的応答技法について

【録画2】フィードバックセッション

セッションⅣ

【録画3】事例のロールプレイング

セッションⅤ

まとめとふりかえり

※内容は予定であり、変更になる可能性があります。

☆過去の受講生の声☆

- ・自身が面接をする姿を映像で見る機会は初めてで、自分の強み・弱みを知ることができてとても貴重な機会であった。
- ・話し方や聞き方について自分では自信がなかったが、他の人から客観的な意見をきいて、自信に繋がったり、新たな目標を持つことができた。
- ・数年に一度は受講して、自分を見つめなおす機会にしたい。

〈会場地図〉



<会場への交通のご案内>

- 各線「三宮」駅 徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅 徒歩7分
- 市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ
- ポートライナー「貿易センター」駅 徒歩5分

【お問い合わせ】

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター内

TEL(078)271-5300 FAX(078)271-5365

E-mail daigaku@with-kobe.or.jp